



2024年6月期 第2四半期決算説明資料

2024年2月13日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

1

2024年6月期 第2四半期業績サマリー

2024年6月期 業績予想

トピックス

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

1

2024年6月期 第2四半期業績サマリー

2024年6月期 業績予想

トピックス

1. 前年同期比増収・増益、過去最高を更新
2. 通期業績予想に対する売上・利益の進捗も順調
3. 特に情報漏えいIT対策が好調で、全社業績を牽引

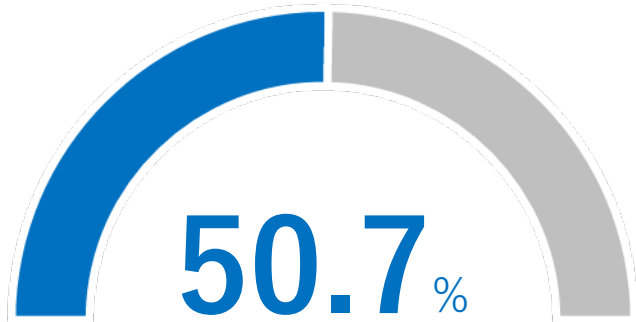
前年同期比で増収・増益、2Q時点の通期進捗率はいずれも50%超

売上高

前年同期比 **+10.6%**

3,292百万円

通期進捗率

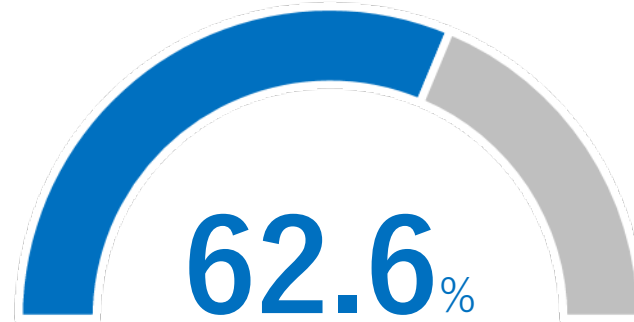


営業利益

前年同期比 **+21.9%**

406百万円

通期進捗率

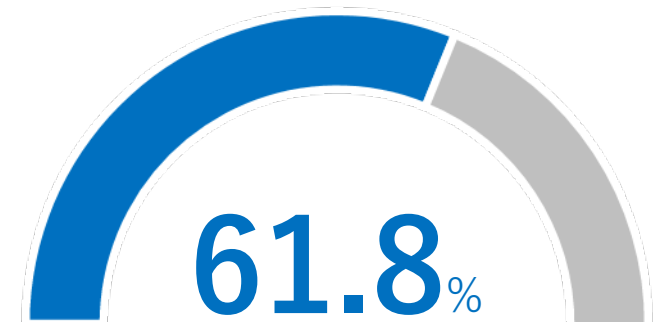


四半期純利益

前年同期比 **+4.8%**

271百万円

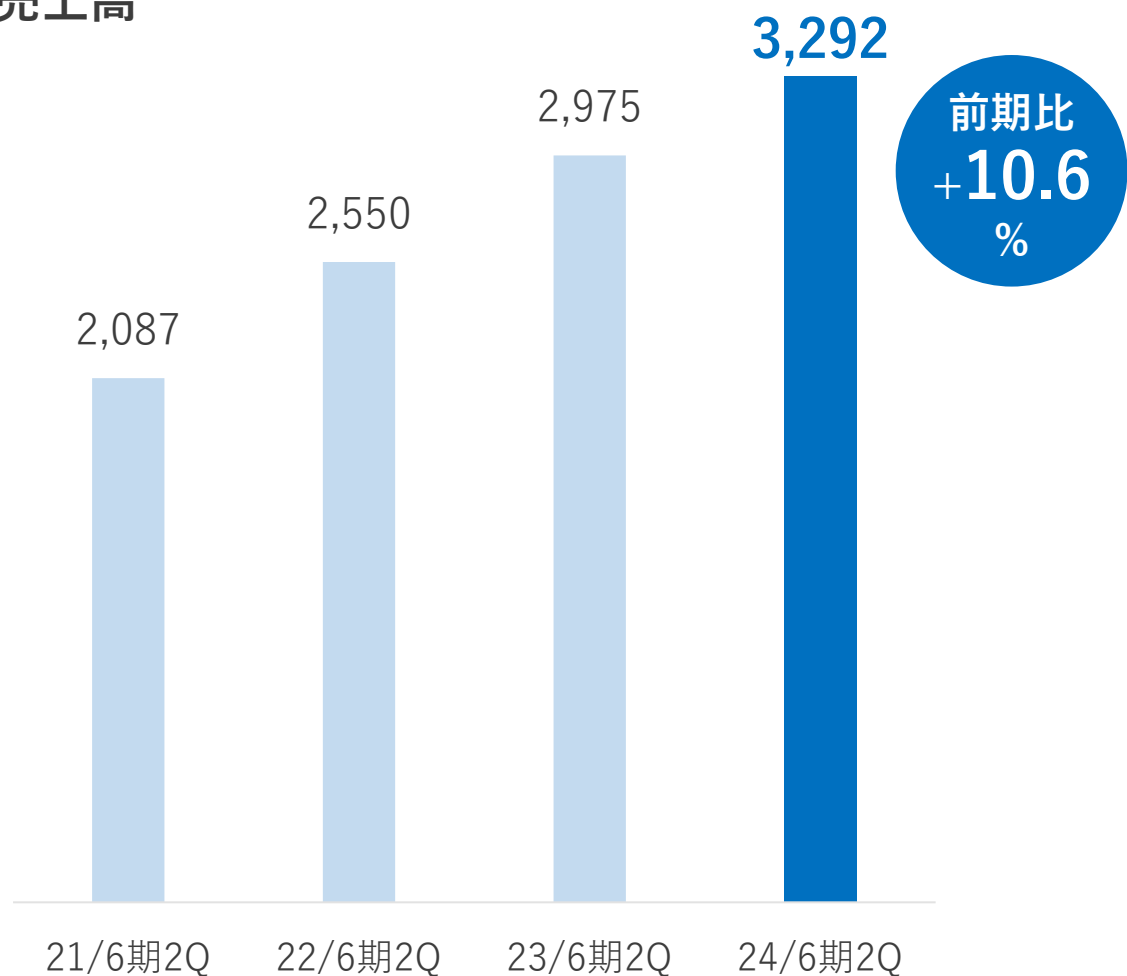
通期進捗率



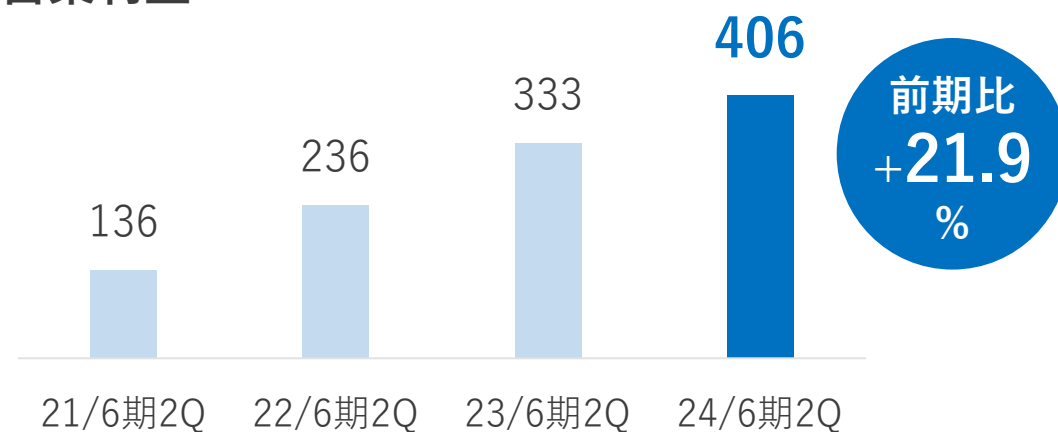
増収・増益基調を維持

単位：百万円

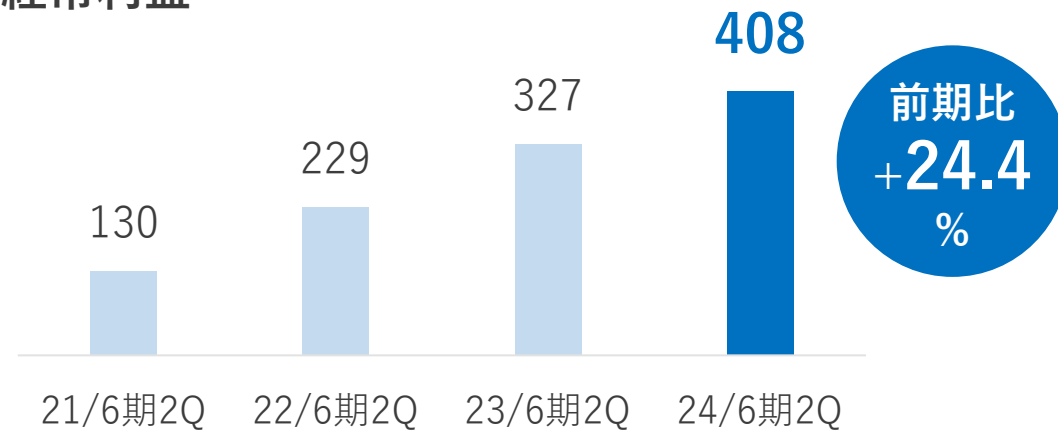
売上高



営業利益



経常利益



売上高、各段階利益ともに過去最高を更新

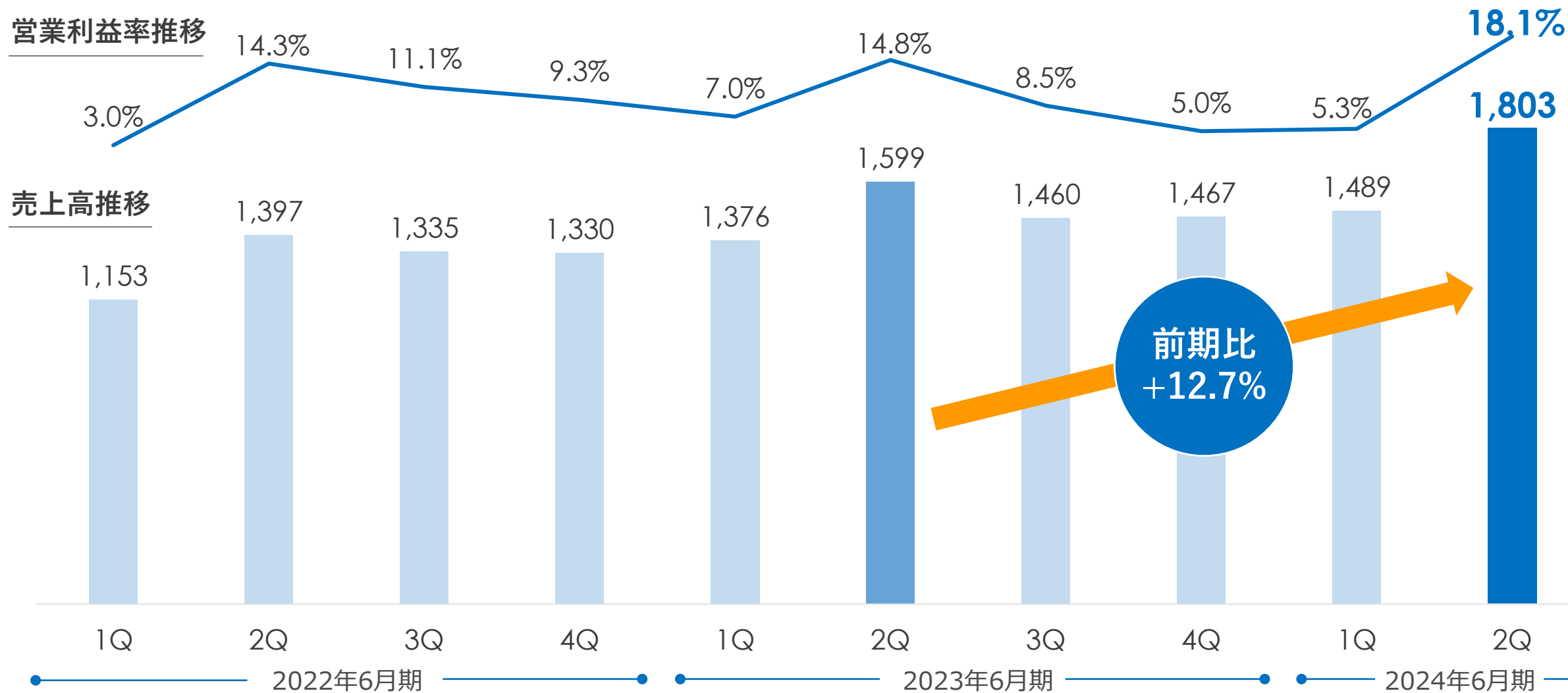
単位：百万円

科目	2023年6月期 第2四半期実績	2024年6月期 第2四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,975	過去最高 3,292	+316	+10.6%
売上原価	2,026	2,234	+208	+10.3%
売上総利益	949	過去最高 1,057	+107	+11.4%
販売費及び一般管理費	616	651	+34	+5.6%
営業利益	333	過去最高 406	+73	+21.9%
売上高営業利益率	11.2%	12.4%	+1.2p	
経常利益	327	過去最高 408	+80	+24.4%
売上高経常利益率	11.0%	12.4%	+1.4p	
四半期純利益	259	過去最高 271	+12	+4.8%

中間配当 5円

第2四半期売上高は前年同期比12.7%増、営業利益は37.8%増

単位：百万円



全てのサービス区分において、過去最高の売上高を更新

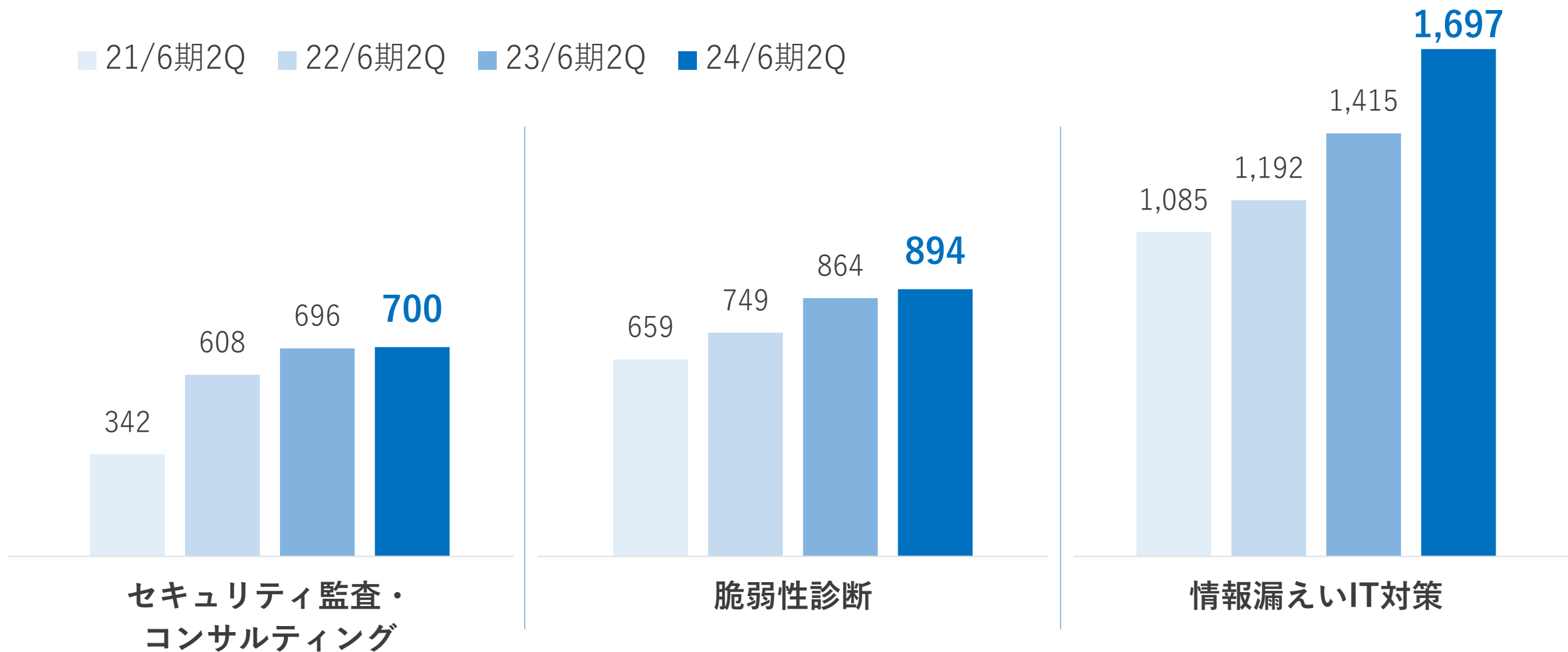
単位：百万円

サービス区分	2023年6月期 第2四半期売上高	2024年6月期 第2四半期売上高	前年同期比	
			増減額	増減率
セキュリティ監査・ コンサルティング	696	過去最高 700	+4	+0.6%
脆弱性診断	864	過去最高 894	+30	+3.5%
情報漏えいIT対策	1,415	過去最高 1,697	+281	+19.0%

各サービス区分とも、増収傾向を維持

単位：百万円

■ 21/6期2Q ■ 22/6期2Q ■ 23/6期2Q ■ 24/6期2Q



全てのサービス区分において、過去最高の売上高を更新

サービス区分	変動要因
セキュリティ監査・ コンサルティング	自動車工業会ガイドライン準拠案件が増加 さらにサイト構築コンサル案件の増加により前年比増収
脆弱性診断	旺盛な需要を確実にこなし、安定成長
情報漏えいIT対策	定常収益の積上げ、およびクレジットカード関連システムの 更改案件などにより、前年比大幅増収

純資産は順調に増加、自己資本比率は50%を超える

科目	2023年6月期	2024年6月期 第2四半期	前期末比増減	前期末比増減率
流動資産	2,486	2,741	+254	+10.2%
うち現預金	1,356	1,467	+111	+8.2%
固定資産	1,080	1,004	-76	-7.1%
資産合計	3,567	3,745	+177	+5.0%
流動負債	1,539	1,506	-33	-2.1%
固定負債	400	335	-64	-16.0%
負債合計	1,939	1,842	-97	-5.0%
純資産合計	1,628	1,902	+274	+16.9%
(自己資本比率)	45.6%	50.8%	+5.2p	

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

1

2024年6月期 第2四半期業績サマリー

2024年6月期 業績予想

トピックス

売上高は10%成長を維持しながら、営業利益率は10%を維持し 増収増益を続ける

2023年8月10日
発表内容から変更なし

単位：百万円

科目	2023年6月期 通期実績	2024年6月期 通期計画	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	5,904	6,500	+596	+10.1%
営業利益	531	650	+119	+22.4%
売上高営業利益率	9.0%	10.0%	+1.0p	
経常利益	528	640	+112	+21.2%
売上高経常利益率	8.9%	9.8%	+0.9p	
当期純利益	416	440	+24	+5.8%

2024年6月期 第2四半期決算説明資料

1

2024年6月期 第2四半期業績ハイライト

2024年6月期 業績予想

トピックス

グローバルセキュリティエキスパートおよび兼松エレクトロニクスとの資本業務提携

DX・AI時代のセキュリティ事業拡充に向け、グローバルセキュリティエキスパート株式会社（GSX）および兼松エレクトロニクス株式会社（KEL）との資本業務提携契約を締結

SBI FinTech Solutions株式会社との資本業務提携による、SBIグループとの連携は維持

異動前		→	異動後	
大株主	割合※		大株主	割合※
SBIインキュベーション	31.40%		GSX	22.90%
SBI FinTech Solutions	21.94%		SBI FinTech Solutions	21.84%
SBIホールディングス	12.67%		SBIインキュベーション	15.83%
GSX	4.83%		KEL	9.95%

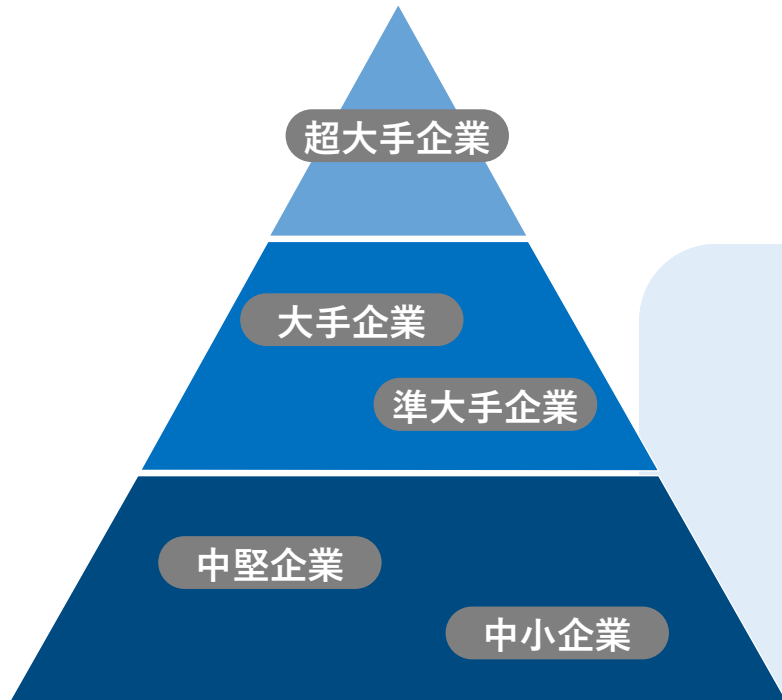
※異動前は2023年6月30日時点、異動後は2023年12月31日時点の議決権所有割合

詳細は、2023年11月10日発表「資本業務提携契約の締結、株式の売出し、親会社、筆頭株主である主要株主、主要株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」をご覧ください。

大手企業・準大手企業向けの総合セキュリティ企業としての地位を確立

セキュリティアドバイザリ・脆弱性診断・セキュリティオペレーションセンター事業から、セキュリティインシデントへの対応まで、成長率の高い大手企業・準大手企業に向けた総合セキュリティサービスを拡充

国内企業の構造



セキュリティ業界



市場環境



Gomez観光サイトリライアビリティランキング発表



Webサービス・アプリケーションのパフォーマンスと信頼性評価の「[サイトリライアビリティランキング](#)」を創設第1弾として、9月21日に「観光サイトリライアビリティランキング」を発表

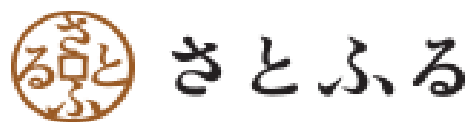
順位	得点	都道府県名とサービス名	運営団体
1位	7.63	東京都 GO TOKYO	公益財団法人東京観光財団
1位	7.63	広島県 Dive! Hiroshima	一般社団法人広島県観光連盟
3位	7.28	群馬県 ググっとぐんま	公益財団法人群馬県観光物産国際協会
4位	7.01	栃木県 とちぎ旅ネット	公益社団法人栃木県観光物産協会
5位	6.79	熊本県 もっと、もーっと！ くまもっと。	公益社団法人熊本県観光連盟
6位	6.74	鹿児島県 かごしまの旅	公益社団法人鹿児島県観光連盟
7位	6.52	大阪府 OSAKA-INFO	公益財団法人大阪観光局
7位	6.52	千葉県 まるごとe! ちば	公益社団法人千葉県観光物産協会
7位	6.52	茨城県 観光いばらき	一般社団法人茨城県観光物産協会
10位	6.43	青森県 Amazing AOMORI	公益社団法人青森県観光国際交流機構

SRE (Site Reliability Engineering)の考えのもと、パフォーマンスにセキュリティとプライバシーを評価指標に加え、「信頼性」を表す評価となっている

評価カテゴリ	評価内容
サイトパフォーマンス	ウェブサイトの表示速度、稼働率、応答性、表示の安定性を評価するカテゴリです。安定的にサイトにアクセスでき、サイト上でユーザ体験を損なわずアクセスできているかを総合的に評価します。
セキュリティ	暗号化通信、アクセス制御、HTTPレスポンスヘッダなど、公開ホームページ上での基本的な対策状況を評価します。
プライバシー	プライバシーやcookieに関するポリシー、個人情報保護に関する認証、運営企業情報など、信頼感を表す取り組みを評価します。

サービス別に事例をわかりやすくご紹介

- ▶ お客様のどんな課題をBBSec提供のサービスで解決できたのか
- ▶ ご自身の課題と似通った課題を確認することでサービス導入を検討いただく



NTT DATA Trusted Global Innovator
NTT DATA Group



ユーザー事例

CASE STUDY

ミッションは「つなく」こと。あらゆるステークホルダーをつなぎ、幅広い視点でものを作る。――

～新たなアソビを創造し、つながる全ての人々に～

株式会社バンダイナムコセブズ 様



【お話を伺った方】

－ ミッションは「つなく」。セキュリティの礎を強化

バンダイナムコセブズ様は、バンダイナムコエンターテインメント社より分社化し、バンダイナムコグループ各社が保有する知的財産 (IP) をもとに遊技機専門メーカーと共同で企画・開発するBtoBの遊技機事業を中心とした企業だ。

同社では既存の事業をサポートする、顧客対応の新規サービスの計画があり、自社開発を進めていた。もともと、主力である遊技機事業は商品がネットワークにつながらない数少ない事業領域であり、開発自体もドメスティックでネットワークにつながる数が少ない。そのため、自社にネットワークセキュリティ関連の知識が豊富なスタッフがいない状況があったという。バンダイナムコグループのサービスは多岐に渡り、世界中から狙われやすいコンテンツを多く抱える。グループ各社の抱える権利も複雑に絡み合っており、グループ傘下の脆弱な企業が狙われやすいという危機感があり、各社でのセキュリティ対策強化を要求されていた。





経営ビジョン「Vision 2030」と 成長戦略「Action 2024」について

2024年2月13日

便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

株式会社ブロードバンドセキュリティ

<https://www.bbsec.co.jp/>

便利で安全なネットワーク社会を創造する

情報通信は、現代の社会基盤そのものであり、これを安定的かつ効果的に活用できる状態を維持することで社会に貢献します

2006年の情報セキュリティ事業の創業以来、
基盤創成期（～2018）、安定獲得期（～2023）を経て、
2024年を「新たな成長」の開始の年と位置付ける

AIによるネットワーク社会の大規模な変革の開始が予想されている2030年に向け
情報セキュリティに関する主要な社会課題を解決することで社会に貢献すると共に、
企業価値のさらなる向上を目指す

そのための経営ビジョン「Vision 2030」と成長戦略「Action 2024」を定め
利益を伴う持続的な成長を遂げることで、
株主、従業員、社会にとって意味のある企業となる

経営ビジョンと成長戦略

2

経営ビジョン「Vision 2030」

成長戦略「Action 2024」

現在の取り組み

経営ビジョンと成長戦略

経営ビジョン「Vision 2030」

成長戦略「Action 2024」

現在の取り組み

便利で安全なネットワーク社会を創造する

情報通信は、現代の社会基盤そのものであり、
これを安定的かつ効果的に活用できる状態を維持することで社会に貢献します

「便利で安全なネットワーク社会を創造する」というビジョンを実現するため、
セキュリティ事業を創業する

創業～2018（上場）

- フルラインアップのセキュリティ対策サービスの実現
- 大手・準大手企業をターゲットとした顧客獲得（差別化戦略）
- 財務の改善と上場実現



基盤創成

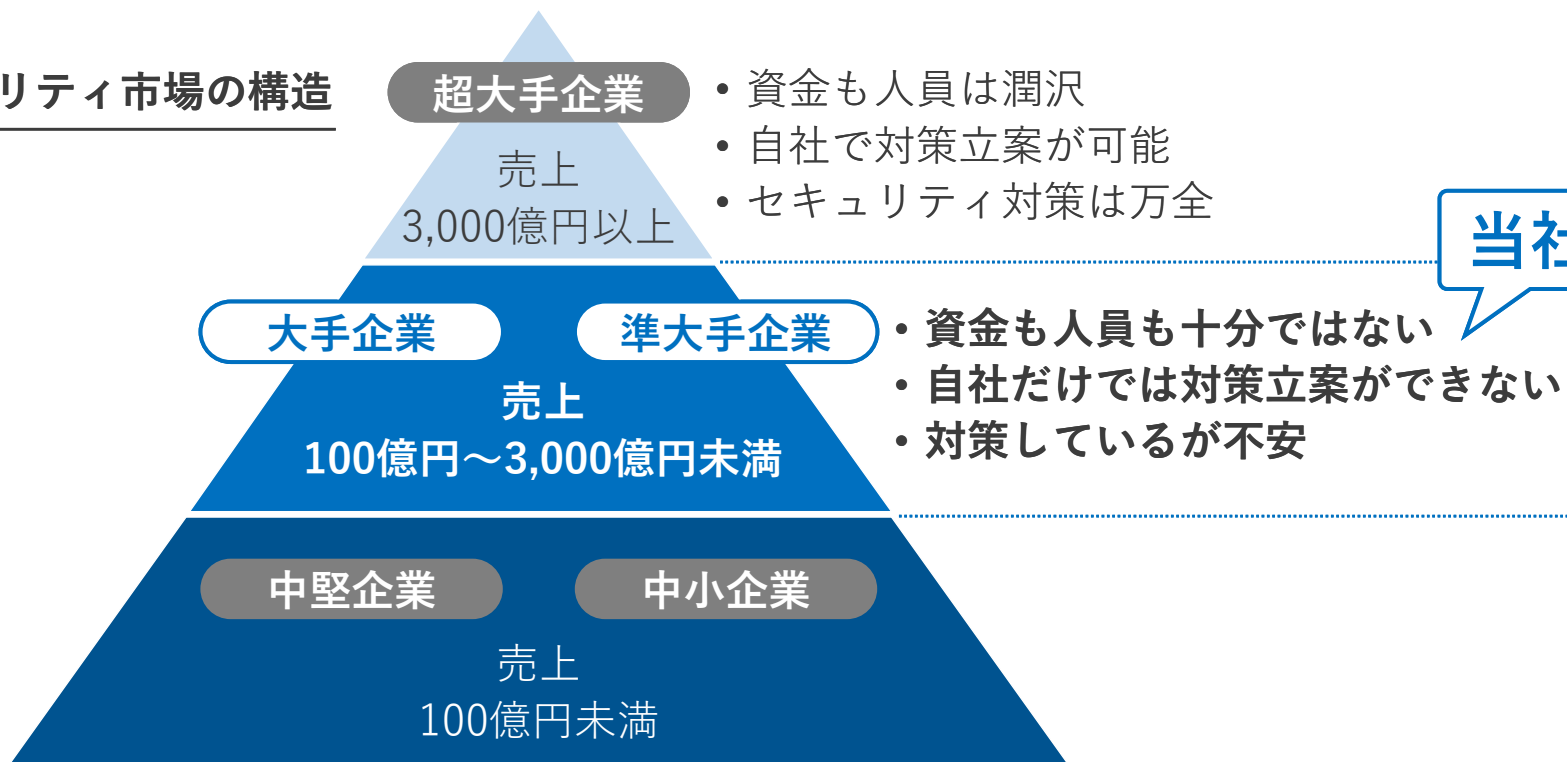
① 有事の対応から、平時のコンサルティングや診断、日々の監視・運用まで
新たなセキュリティサービスを順次立ち上げ



「フルラインアップ」のセキュリティサービスを1社で提供できることが
当社の最大の強みに

② 競合他社が狙う超大手企業市場ではなく、事業開始当初から大手・準大手企業をターゲットとする差別化戦略を推進

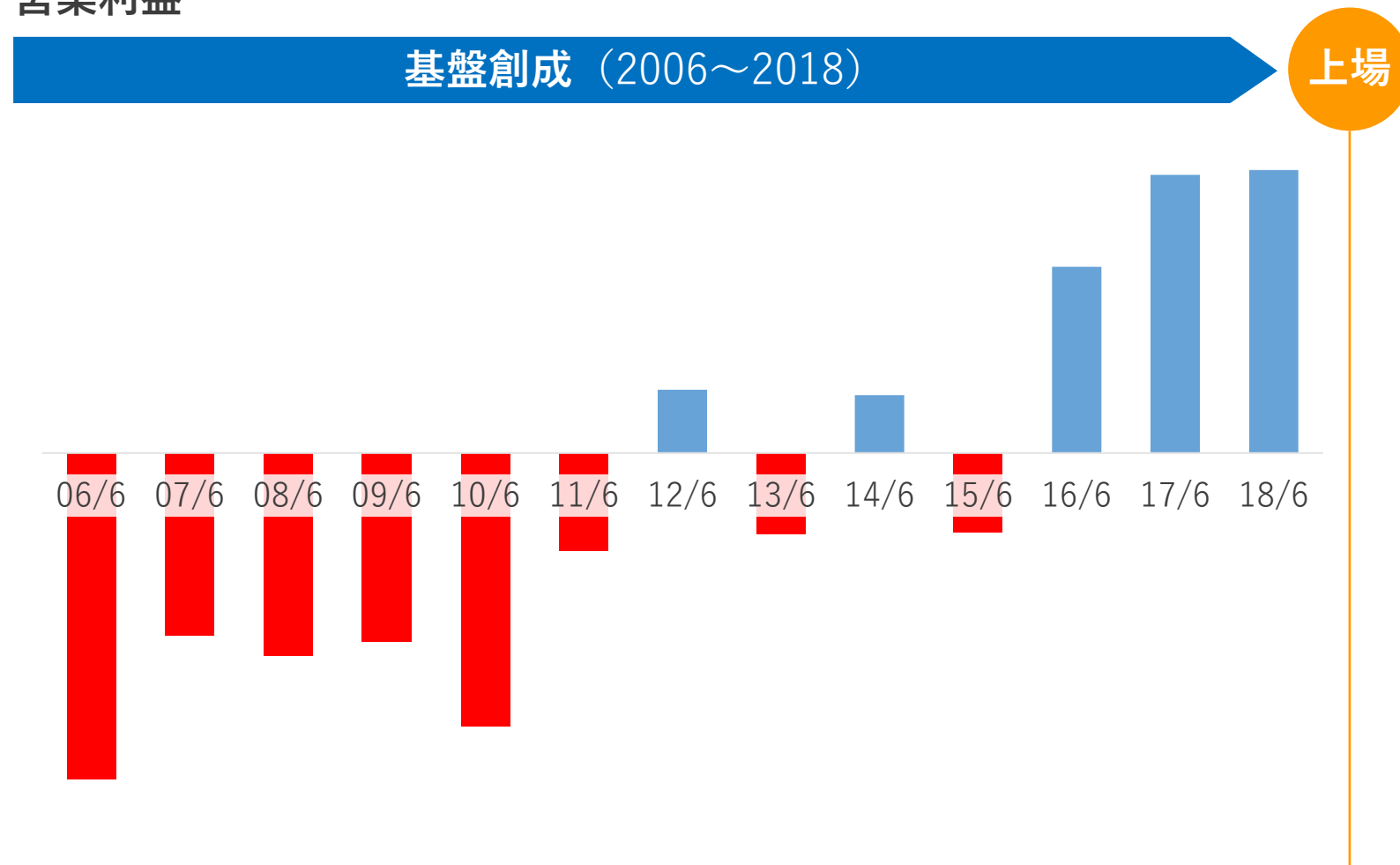
国内セキュリティ市場の構造



これから大きな成長が期待できる大手・準大手企業市場における
圧倒的なプレゼンスを獲得

③ 財務を改善し、2018年 東京証券取引所「JASDAQ市場」へ上場

営業利益



事業ポートフォリオの充実、安定的な利益成長など、企業としての安定化を図る

創業～2018（上場）

- フルラインアップのセキュリティ対策サービスの実現
- 大手・準大手企業をターゲットとした顧客獲得（差別化戦略）
- 財務の改善と上場実現

基盤創成

安定獲得

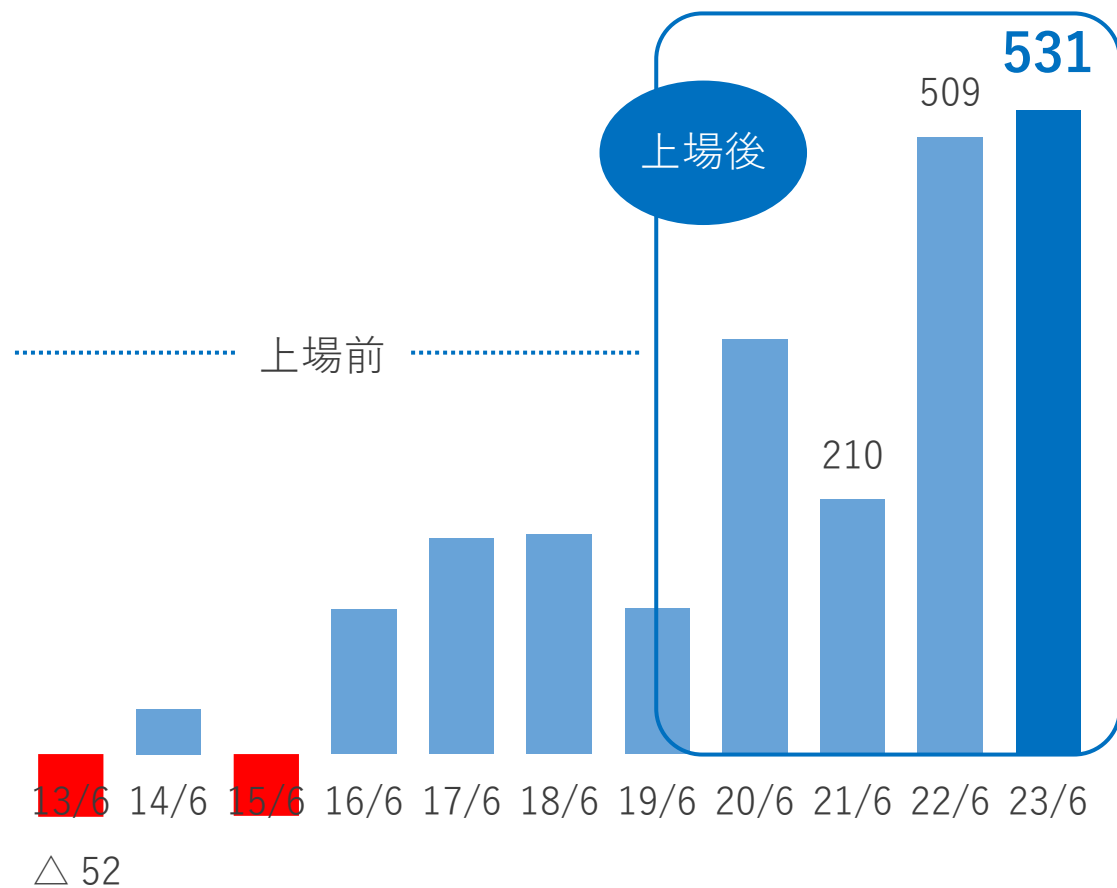
2019～2023

- 事業ポートフォリオと収益の安定
- 自己資本比率の向上
- 企業体力の蓄積

① 3つの事業領域がバランスの取れたポートフォリオとなり、収益の安定を実現

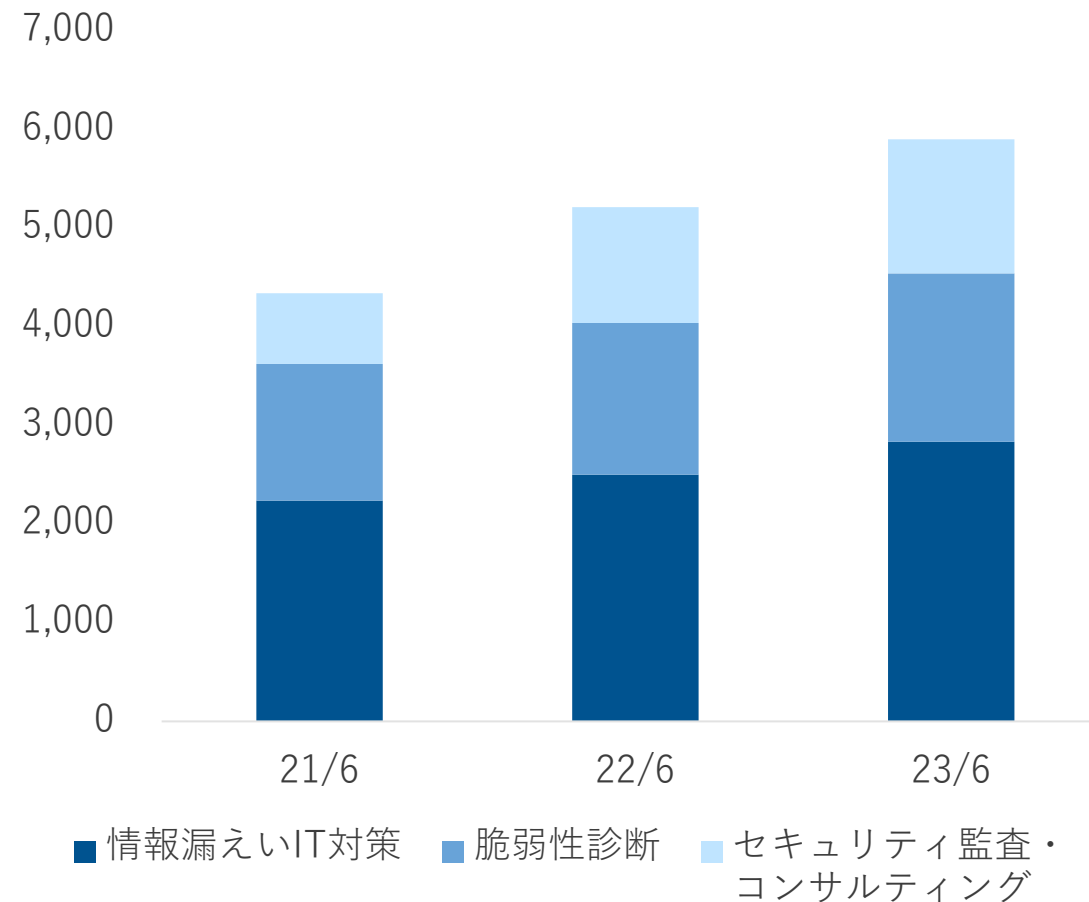
営業利益

単位：百万円



事業領域別売上割合

単位：百万円



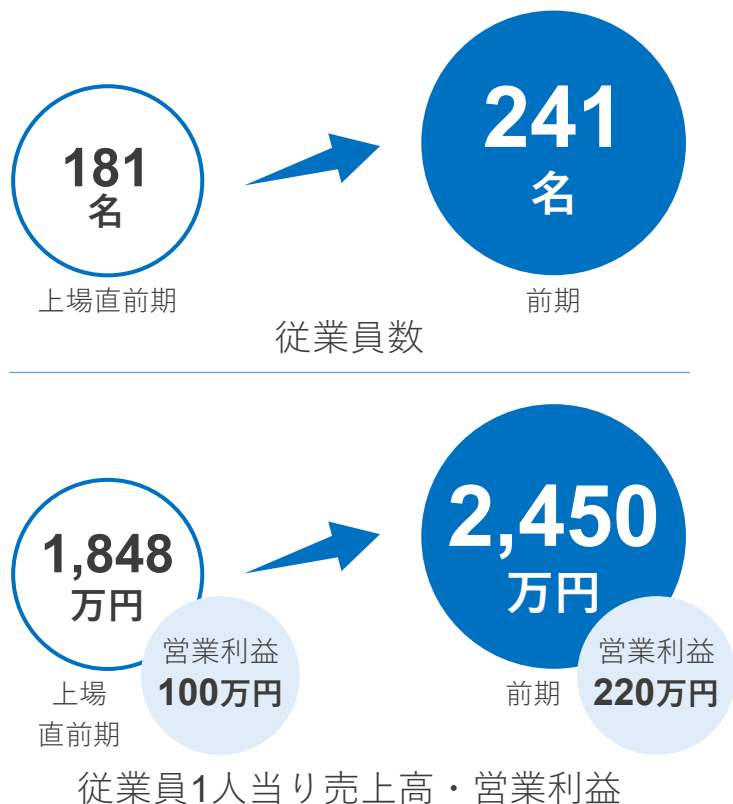
② 自己資本比率の向上により経営が安定し、「新たな成長」への基盤となる

単位：百万円

科目	2019年6月期 (上場期)	2024年6月期 第2四半期	上場期比
流動資産	1,507	2,741	+81.9%
うち現預金	706	1,467	+107.6%
固定資産	1,051	1,004	-4.5%
資産合計	2,558	3,745	+46.4%
流動負債	1,108	1,506	+35.9%
固定負債	631	335	-46.8%
負債合計	1,739	1,842	+5.9%
純資産合計	818	1,902	+132.3%
(自己資本比率)	32.0%	50.8%	+18.8p

③ サービス会社として最大の経営課題である「人的資本の充実」も大きく進展、ガバナンスの強化や業績予想の精度も向上し、企業体力も十分に蓄積

人的資本の充実



ガバナンス強化



コーポレートガバナンスの基本的な考え方及び基本方針

株式会社ブロードバンドセキュリティ

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、次に掲げる経営理念の実現を通じて、株主をはじめとする従業員、顧客、取引先、債権者等様々なステークホルダーへの責任を果たし、社会に貢献していくことが、当社の持続的な成長及び中長期的な企業価値向上につながるものと考えております。

そして、これらの具現化のための基盤として、迅速な意思決定と適切な監督・モニタリングを備えたコーポレートガバナンスは極めて重要であると認識しており、より良いコーポレートガバナンスを実現することを目的として、「コーポレートガバナンス基本方針」を制定いたします。

<経営理念>

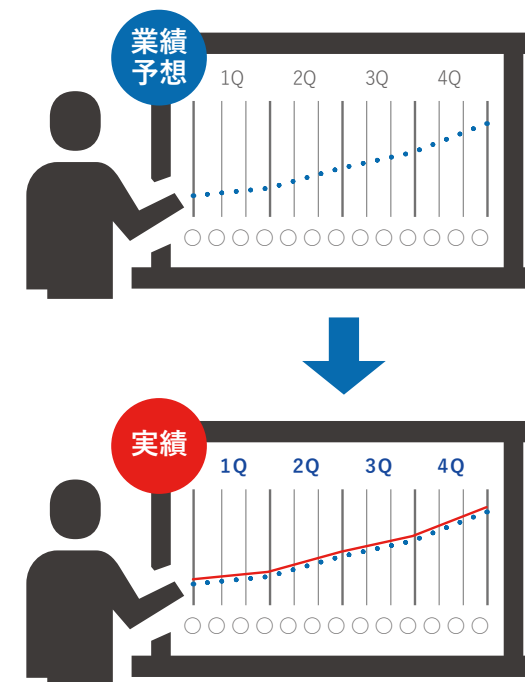
1. お客様の情報資産を守り成長を支援する
 2. 顧客ニーズに真摯かつ迅速に対応する
 3. 高度な専門知識とサービスをわかりやすく提供する
 4. 進化する攻撃にサービスで対抗する
- を当社の価値と位置づけ、企業活動を展開することを、経営理念としております。

<コーポレートガバナンス基本方針>

1. 株主の権利・平等性の確保
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

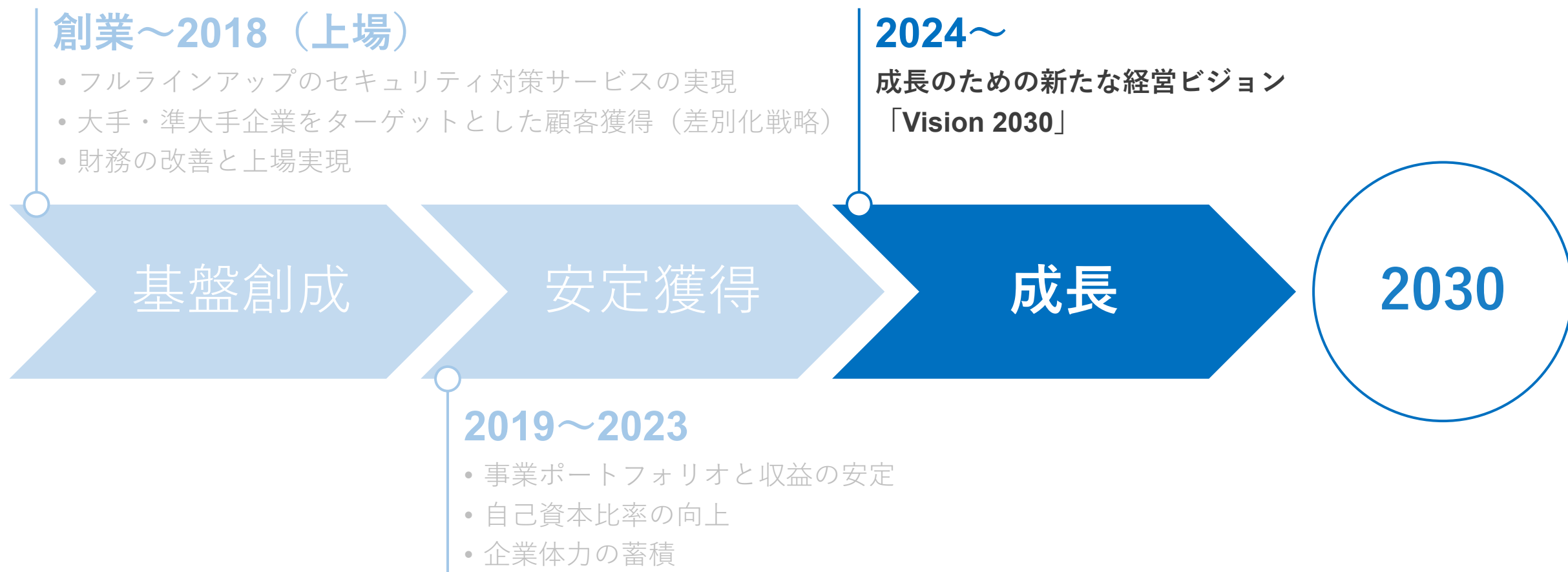
2021年 コーポレートガバナンス基本方針策定

業績予想の精度向上



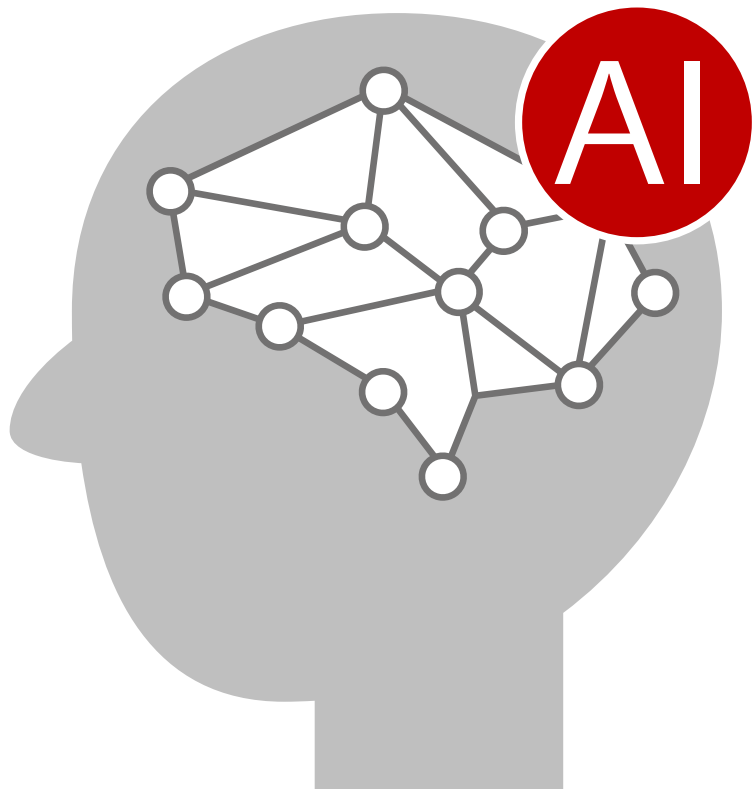
2022年 業績予想のシステム化

来るべき2030年に向けて、成長のための新たな経営ビジョン「Vison2030」を設定



経営ビジョン 「Vision 2030」

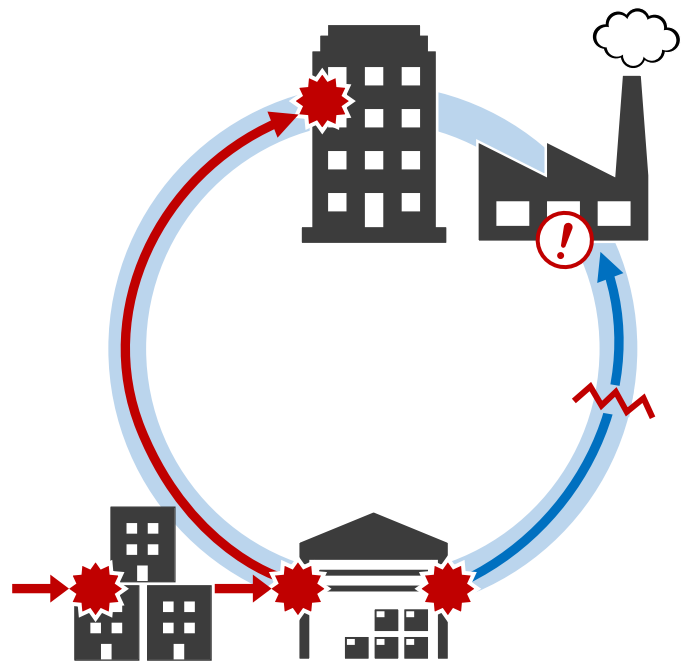
2030年 プレシンギュラリティに向けて、新たなネットワーク社会が生まれる



シンギュラリティ（技術的特異点）とは、技術的な成長が指数関数的に続く中で、人工知能が「人間の知能を大幅に凌駕する」時点とされ、そのシンギュラリティに向かったの転換が本格的に始まる時期（プレシンギュラリティ）が2030年頃とされています

新たな脅威へ対抗していくことが、便利で安全なネットワーク社会を創造するために、
私たちが解決すべき社会的課題であると認識

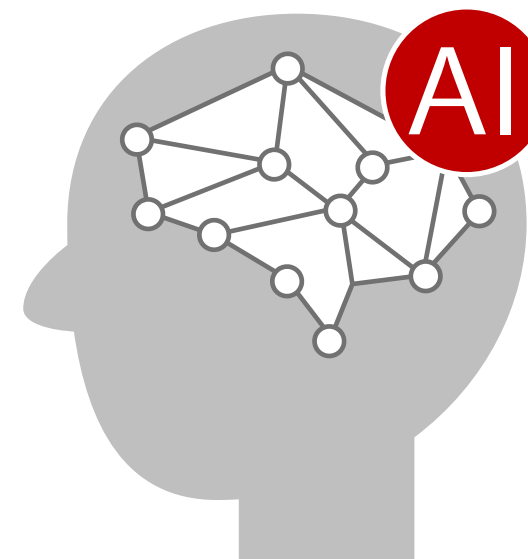
サプライチェーンを狙った攻撃



社会インフラを狙った攻撃

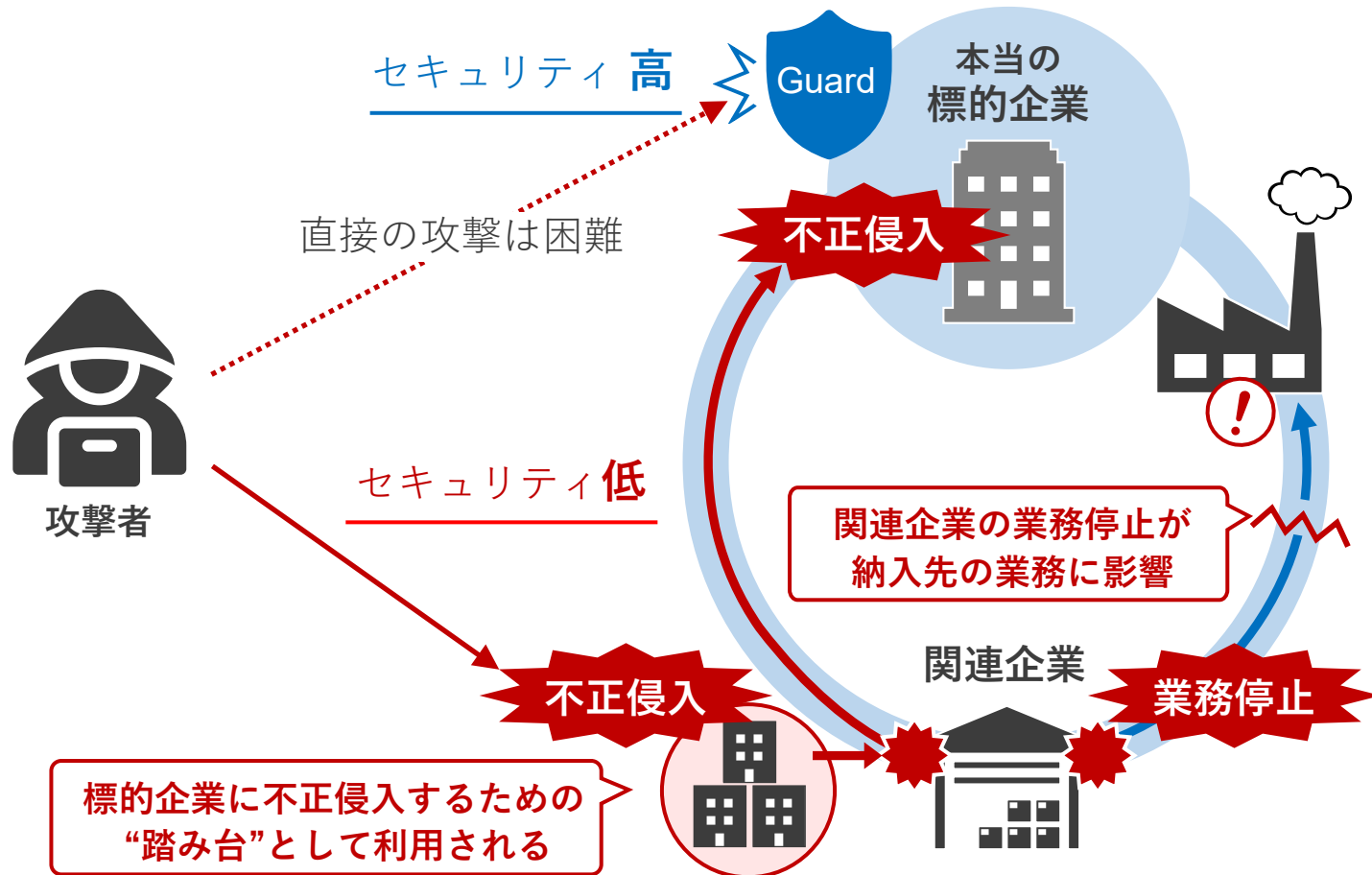


AI時代のセキュリティ





関連企業を踏み台にして標的企業に不正侵入するサプライチェーン 攻撃が頻発 【大手・準大手企業のセキュリティ対策が喫緊の課題に】



大手企業の被害事例

▶ 情報漏えい

M社：アカウント搾取・ネットワークへの不正アクセスによる情報流出

▶ サイバー攻撃

T社：サプライヤー1社のマルウェア被害により生産ライン停止

B社：米子会社へのランサムウェア攻撃により複数の工場を一時稼働停止



重要インフラや公共施設、制御系システムへの サイバー攻撃が活発化

【攻撃被害による社会的影響は大きい】





生成AIによるディープフェイクを悪用した犯罪が増加 フェイク情報の拡散や、なりすましによる詐欺被害も



(※)

ディープフェイクで作成された岸田首相の偽動画のイメージ。実際のニュース番組で放映されたかのようにSNSに投稿され、フェイク情報が拡散された。



偽物

本物

(※)

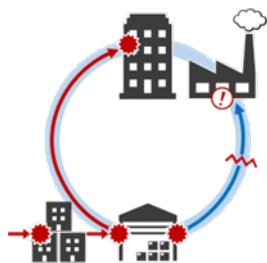
ディープフェイクで作成されたゼレンスキー大統領の偽動画のイメージ（左）。国民へ投降を呼び掛けている偽動画がSNSに投稿された。

※フェイク動画のイメージを当社にて作画

成長のための新たな経営ビジョン「Vision 2030」

- 2030年に向けた社会的課題を解決するため、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献している
- エンジニア、コンサルタントを始めとして当社のビジョンを共有するすべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自分自身の成長を感じている
- その結果、社会や株主から評価され、企業価値が向上している

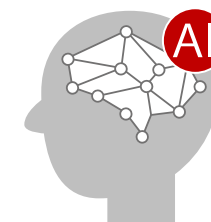
サプライチェーンを狙った攻撃



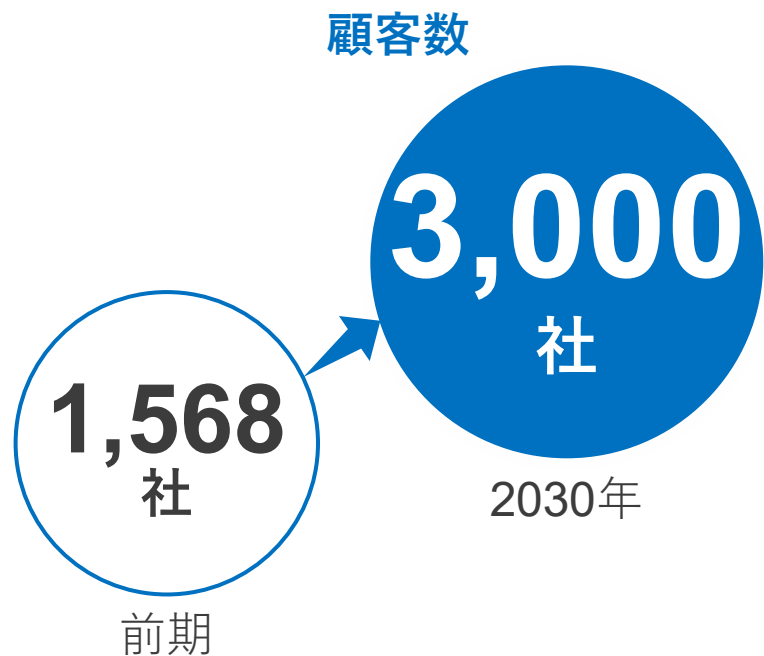
社会インフラを狙った攻撃



AI時代のセキュリティ

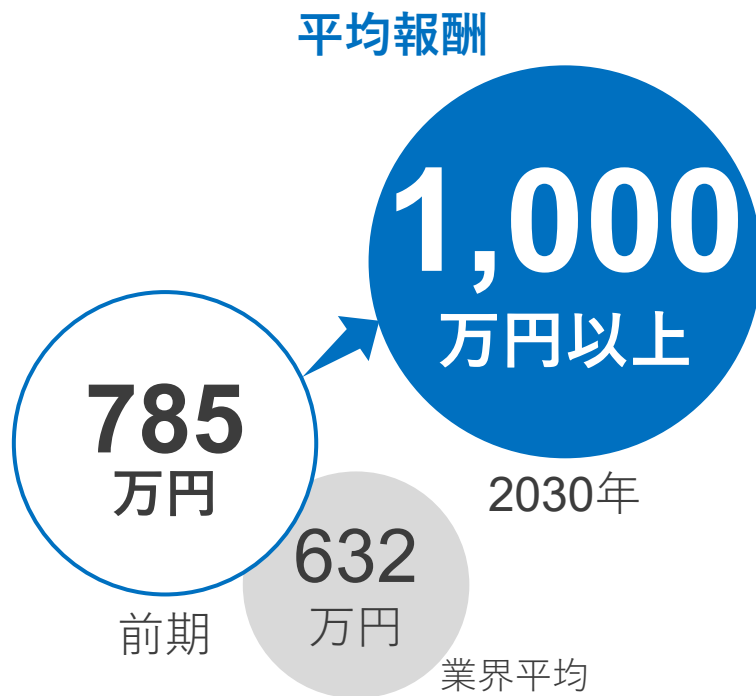


Vision2030で定める経営指標は以下の通り



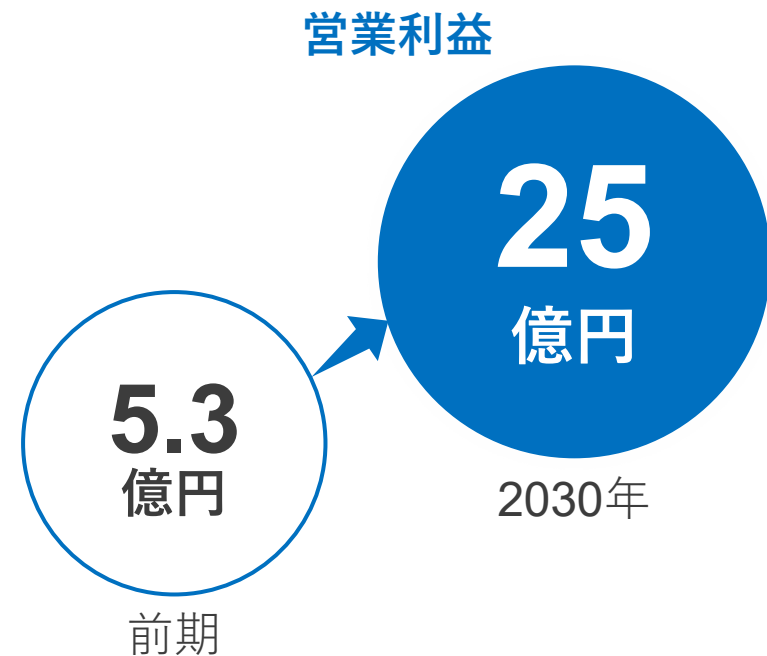
(社会の視点)

より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守り、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献する企業になる



(従業員の視点)

すべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自身の成長を感じられる企業になる



(株主の視点)

社会への貢献を継続し、社会や株主から評価される企業となり、さらなる企業価値の向上を目指す

中期経営計画に対する考え方

- 悪意ある攻撃者による攻撃は常に変化し、それに対抗するサイバーセキュリティの技術の進化や法規制の変更があり、業界や市場の動向は急速に変化しているため、変化への柔軟性を損なう可能性が高く、当社はこれまで中期経営計画を発表しておりませんでした。
- 今後もこの方針には変わりなく、当社ビジョン及び今回発表した「**Vision 2030**」を基本としながらも、社会や業界、市場の変化に柔軟に対応すべく適宜戦略の見直しを行い、単年度の計画として開示してまいります。
- また、「**Vision 2030**」の実現に向けての成果や進捗については、今後積極的にお知らせしてまいります。

経営ビジョンと成長戦略

経営ビジョン 「Vision 2030」

成長戦略 「Action 2024」

現在の取り組み

成長戦略 「Action 2024」

1. 新規事業への参入と収益化

Vision 2030の実現にむけた社会課題の解決のため、新サービスの開発、新規事業への参入と収益化を推進する

2. 成長のための人的資本への積極的投資

成長戦略実現のため、今まで以上に人的資本への積極的投資を行い、サービス品質と生産性を向上させ、一社でも多くのお客様の期待に応える

3. 既存事業の継続的拡大と利益率向上

過去5年のCAGR 11%を維持しつつ、業種別ソリューションをより強化することによって、さらなる利益率の向上を目指す

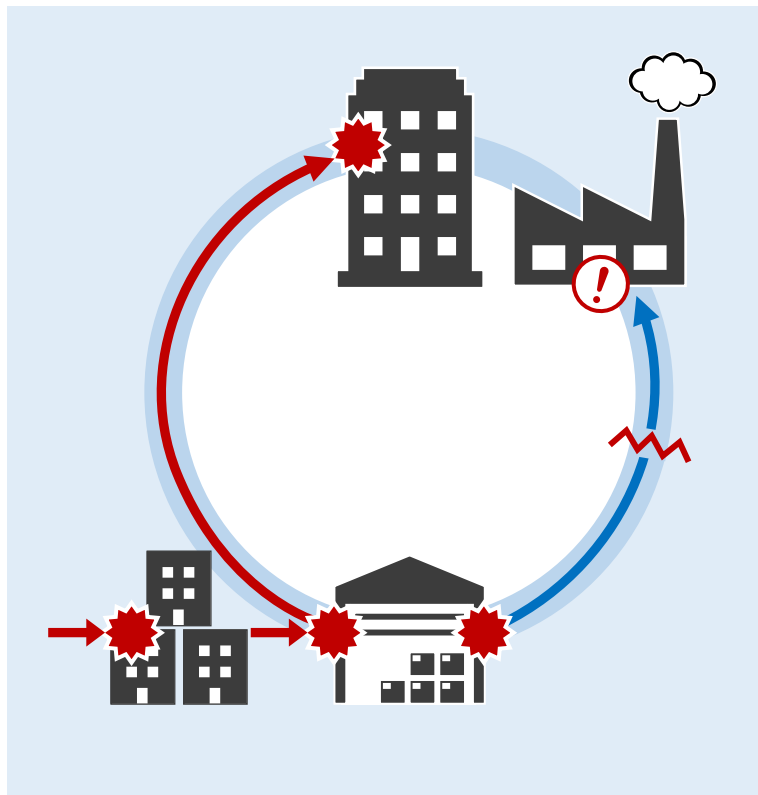
Action
2024

Vision 2030

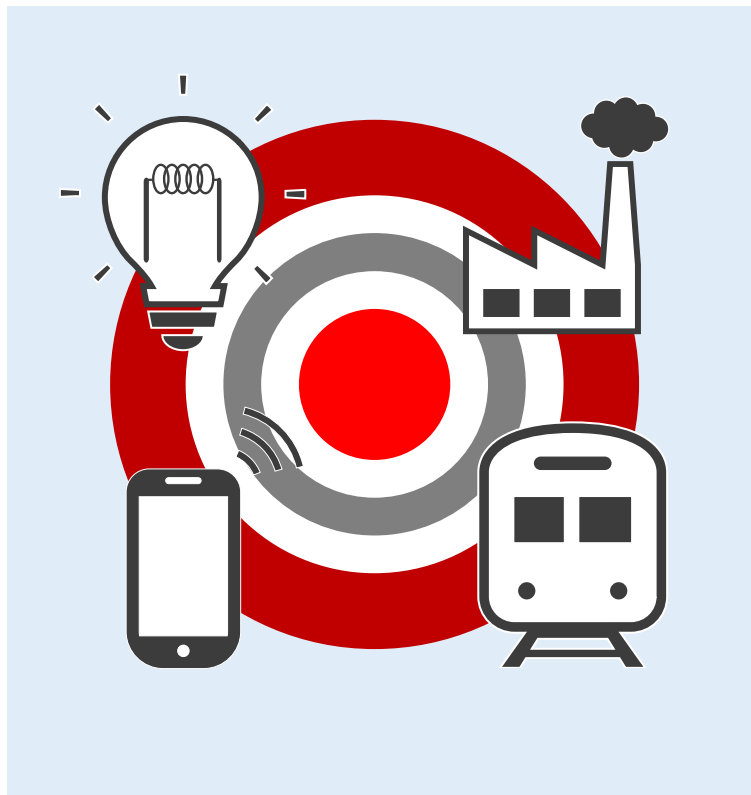
1. 新規事業への参入と収益化

Vision 2030の実現にむけた社会課題の解決のため、新サービスの開発、新規事業への参入と収益化を推進

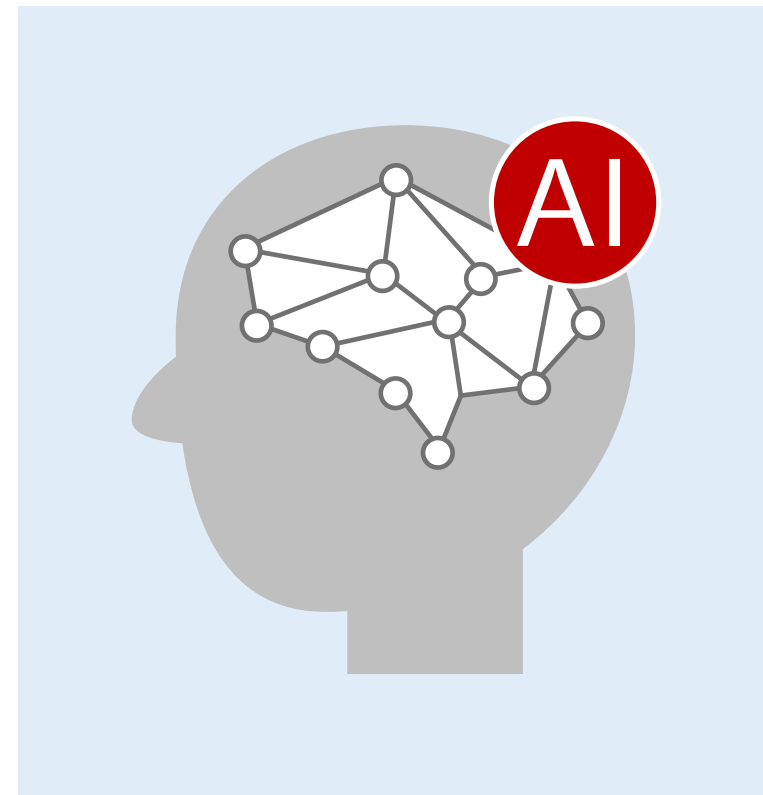
サプライチェーンを狙った攻撃



社会インフラを狙った攻撃



AI時代のセキュリティ



2. 成長のための人的資本への積極投資

成長戦略実現のため、今まで以上に人的資本への積極的投資を行い、サービス品質と生産性を向上させ、一社でも多くのお客様の期待に応える

① 経営戦略と連動した人財戦略

経営ビジョン「Vision 2030」の実現のため、経営戦略「Action 2024」の方針に従った人財戦略を立案し、積極投資を行ってまいります。

② 人財戦略立案方針

1. 優秀な人材を採用し、安定した就業環境を提供すること：採用と安定
2. 等しく教育の機会を与え、成長を支援すること：教育と成長
3. 成果には応分な報酬を与えること：成果と報酬

③ 企業文化

私たちの存在意義を表現した当社のビジョンは2006年に制定され、企業文化として既に定着しており、これからもこれを大切に守ってまいります。

人財戦略立案方針

成長戦略「Action 2024 - 成長のための人的資本への積極投資」の指針としての人財戦略策定方針

採用と安定

優秀な人材を採用し、
安定した就労環境を提供する



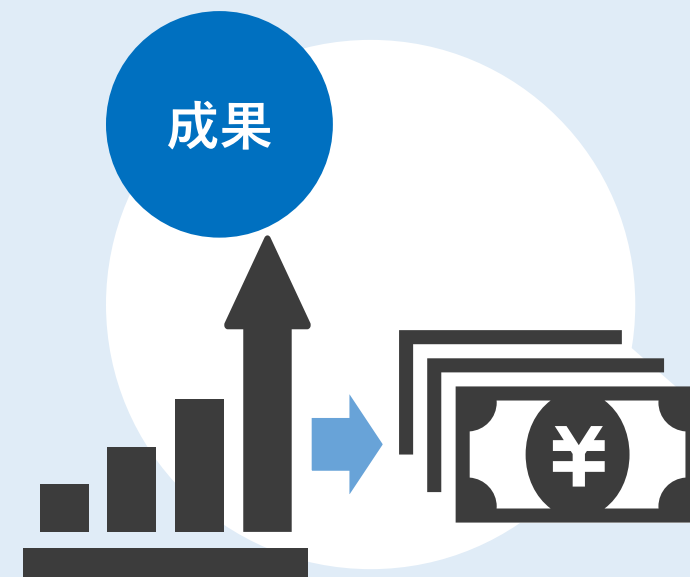
教育と成長

等しく教育の機会を与え、
成長を支援する



成果と報酬

成果には応分な報酬を与える



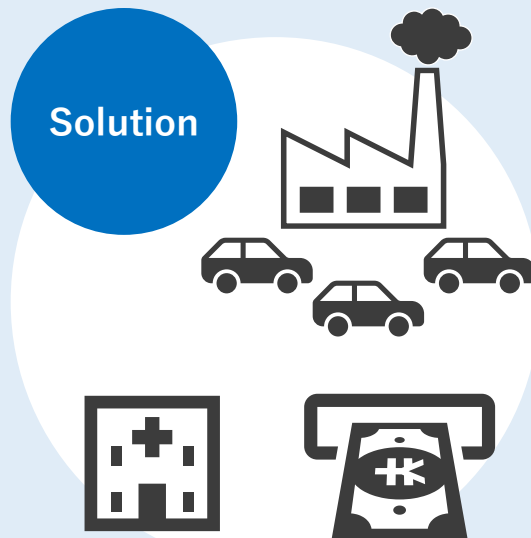
3.既存事業の継続的拡大と利益率向上

過去5年のCAGR 11%を維持しつつ、業種別ソリューションをより強化することによって、さらなる利益率の向上を目指します

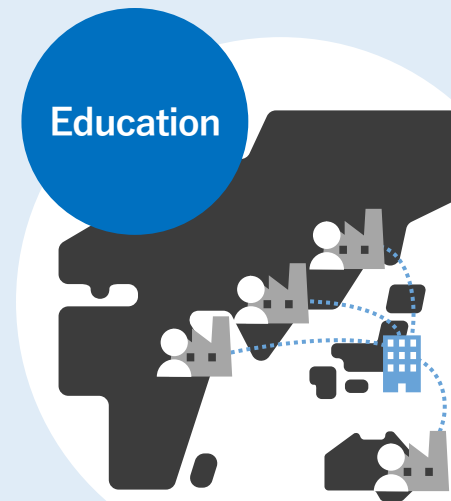
コンサルティング機能強化



業種別ソリューション強化



海外ガバナンス教育



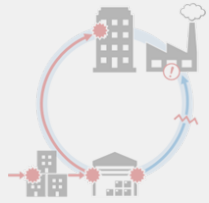
経営ビジョンと成長戦略

経営ビジョン「Vision2030」

成長戦略「Action 2024」

現在の取り組み

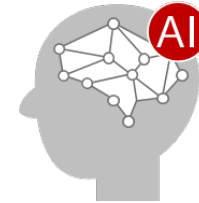
2024年2月13日 第4世代のAIを軸としたソリューション提供で注目を浴びている株式会社pluszeroとのAI分野における協業を発表しました



サプライチェーンを
狙った攻撃



社会インフラを
狙った攻撃



AI時代の
セキュリティ





2024年2月13日 株式会社pluszeroとの協業を発表しました AIの民主化時代におけるサイバーセキュリティ分野への取り組み強化

+ zero

東京証券取引所 グロース市場 (5132)

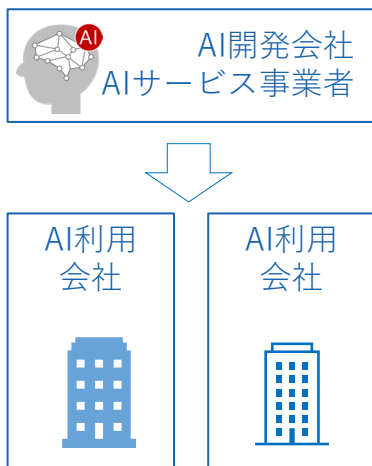
高度なAIの専門性
AIシステム開発
ソリューション提供



フルラインアップのセキュリティ対策
セキュリティ監査・コンサルティング
セキュリティ教育提供

AIの民主化時代の課題

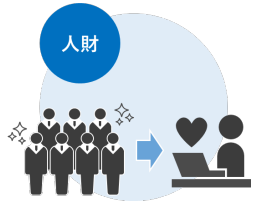
1. 各国のAIに対する規制やガイドラインに対応していかなければならない
2. AI利用によるセキュリティやプライバシーを考慮しなければならない
3. セキュリティリスクとその対策への投資の最適化が困難になっていく



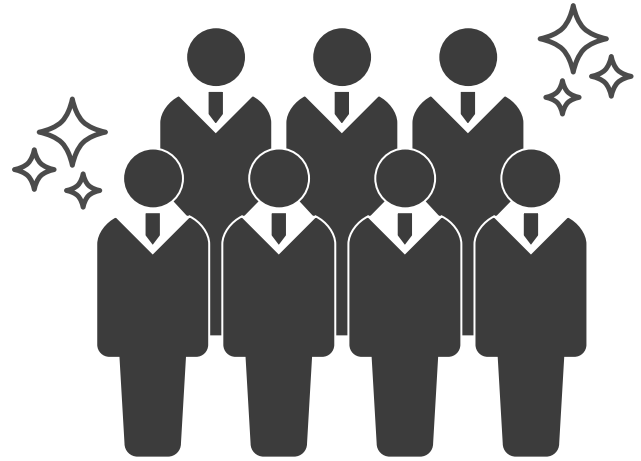
両社協業によるソリューション

- ▶ セキュリティ監査・各種ガイドライン準拠支援
管理体制整備支援
- ▶ セキュリティ・プライバシー教育サービス
- ▶ AIを活用した企業リスク算定モデルの共同研究

成長戦略実現のため、今まで以上に人的資本への積極的投資を行い、サービス品質と生産性を向上させ、一社でも多くのお客様の期待に応える



採用と安定



新卒定期採用開始決定



教育と成長



新卒社員エンジニア育成



成果と報酬



4月に採用した新卒社員7名に対し、8ヶ月間の技術研修を実施、全員が大きく成長し、お客様のために活躍しています

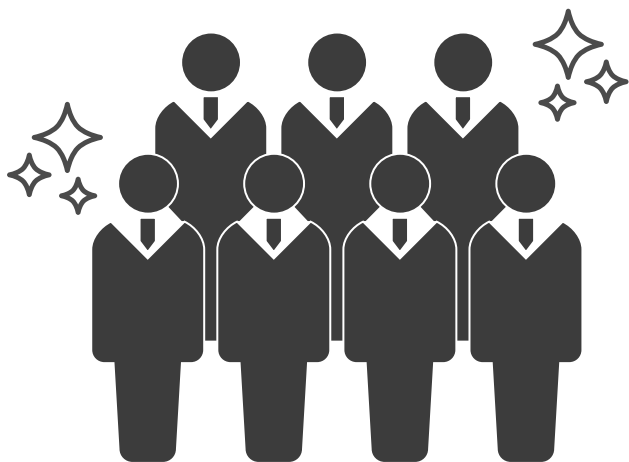
4月

新卒採用
7名

8ヶ月間の
技術研修

12月

大きく成長して
現場で活躍



先輩エンジニアによる研修やOJT
外部有識者による勉強会

セキュリティ基礎

診断ツールの使い方

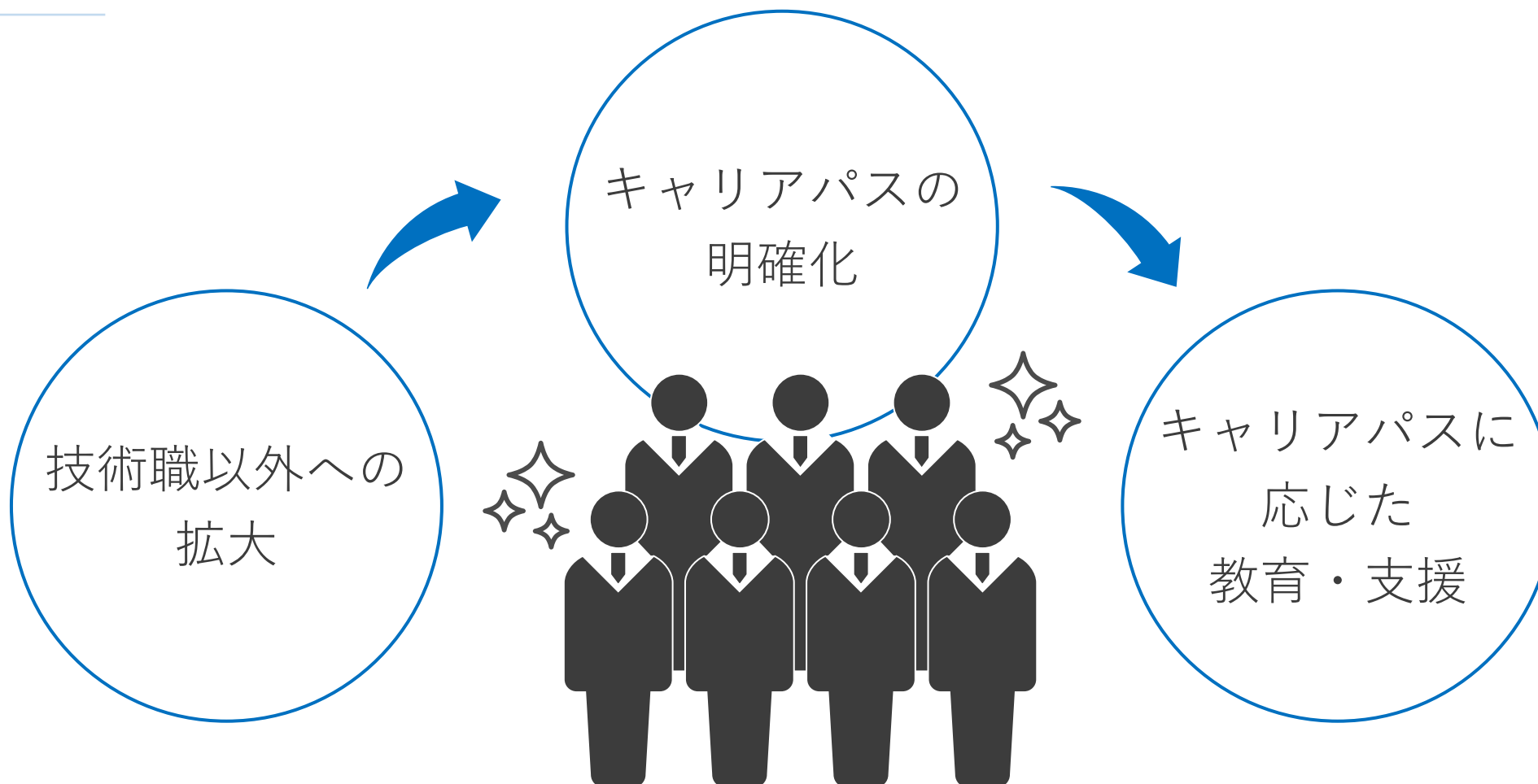
脆弱性診断

etc.





2026年卒より新卒の定期採用を本格化、 5年で60名の採用を目指します



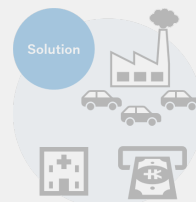
過去5年のCAGR 11%を維持しつつ、業種別ソリューションをより強化することによって、さらなる利益率の向上を目指します



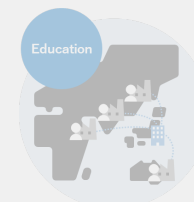
コンサルティング
機能強化



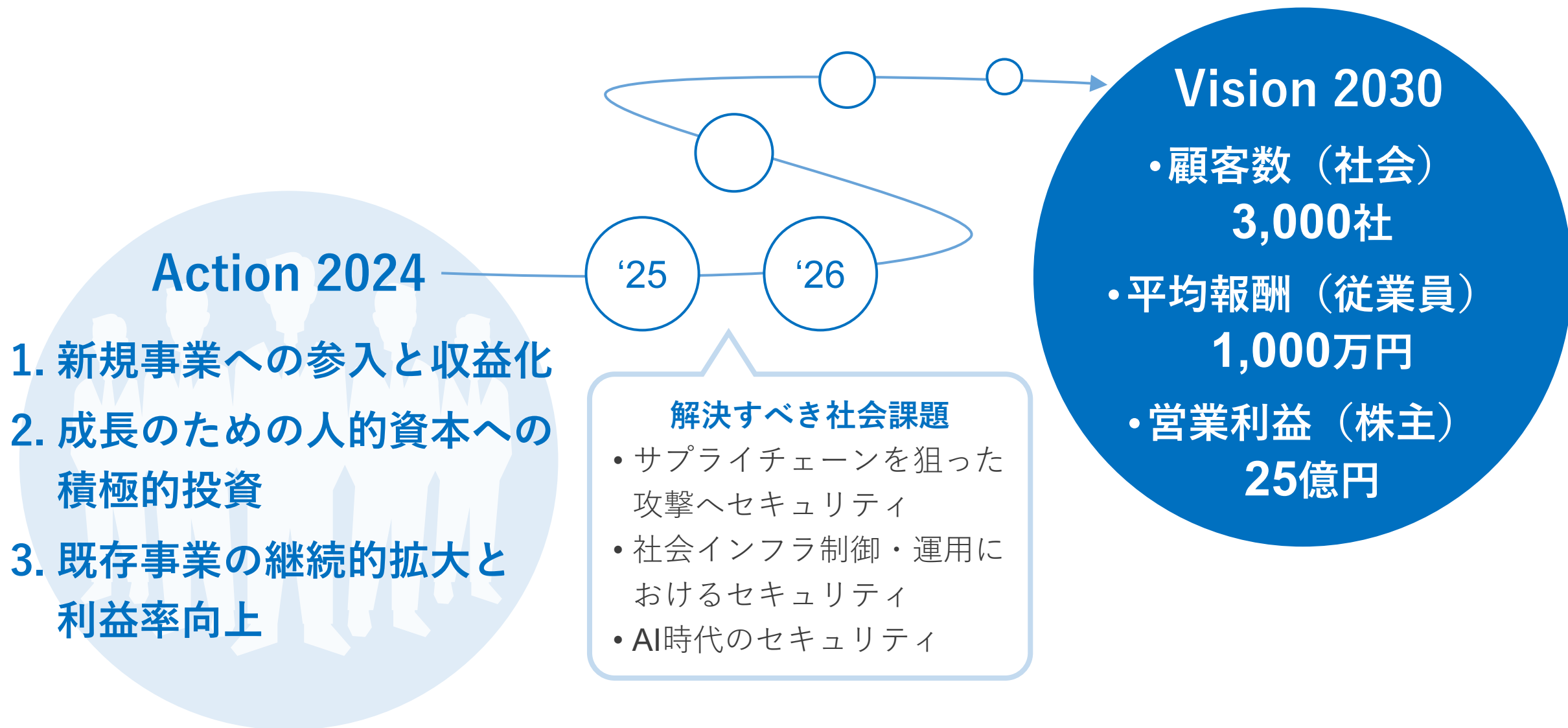
コンサルティング営業の
専門部隊を設立



業種別
ソリューション強化



海外ガバナンス
教育



便利で安全なネットワーク社会を創造する

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。



BBSec
BroadBand Security, Inc.